

## 映画・洋楽の英語教育への活用

古樋 直己 (ふるひ なおき)  
情報科学部 情報メディア学科 准教授

用途・応用分野：英語の学習意欲が低い学習者への英語教育



### ■ 研究シーズ概要

英語の運用能力向上には、英語に接する時間の増加が必須である。たしかに、学習時間の増加がそのまま英語運用能力の向上につながることも限らない。しかし、学習量を増やすことは不可欠である。これには、苦にせず接することができる素材が必要となる。元来、娯楽用に制作された映画や洋楽は、楽しみながら本物の英語に接することができるという点で優れている。ただ、本物であるからこそ、学校の英語との橋渡しの工夫が必要となってくる。

映画・洋楽  
(素材そのまま)



映画・洋楽  
(与え方の工夫あり)



### ■ 研究シーズの特徴

英語学習時間を増やすよう工夫し、結果として、英語運用能力の向上を目指す。

- ①映画・洋楽の英語をディスプレイ上に空欄補充形式で表示し、すぐに消す
- ②素材自体が娯楽目的、かつ、集中を促進する工夫があるため、タスクの繰り返しが可能となる
- ③結果として、英語運用能力向上が大いに期待できる。

